

平成19年度事業報告

(単位:千円)

		平成19年度助成金(実績)		平成19年度助成金(計画)
I 共同助成事業				
①(PNファンド)	国内調査研究助成	8件	6,720	
	国内活動助成	18件	11,780	
	国内長期事業助成	2件	3,100	
	海外助成	5件	5,200	
	小計	33件	26,800	28,000
②(ナショナル・トラスト)	国内活動助成	4件	13,375	20,000
	計	37件	40,175	48,000
II 自主助成事業				
①(有力保護団体助成)	国内調査研究助成	3件	6,000	
	国内活動助成	3件	4,000	
	海外助成	1件	1,000	
	小計	7件	11,000	12,000
②(直接助成)	国内調査研究助成	3件	12,000	
	国内活動助成	5件	5,690	
	小計	8件	17,690	30,000
	計	15件	28,690	42,000
	合計	52件	68,865	90,000

2.助成金交付一覧

I-① 平成19年度(2007年)第18期プロ・ナトゥーラ・ファンド交付一覧

No.	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	決定額
国内研究助成					
(千円)					
1	有明海再生を目指した諫早湾干拓堤防周辺海域の採泥・採水調査	諫早湾保全生態学研究グループ	佐藤 慎一 (東北大学総合学術博物館助教授)	760	760
2	北海道根釧台地湿原群保全のための湿原植生と発達史の研究	根釧台地湿原群自然史研究会	百原 新 千葉大学大学院園芸学研究所 准教授)	1,100	1,100
3	超音波テレメトリー法を使った琵琶湖の固有種ニゴロブナの生態研究	琵琶湖漁業を考える会	山根 猛 (近畿大学農学部水産学科教授)	1,000	1,000
4	高山植生の長期モニタリングサイトの設置	山の自然学クラブ	下野 綾子 (独立行政法人 国立環境研究所 ポスドクフェロー)	990	990
5	八郎潟干拓地(秋田県大潟村)におけるツツイトモの保全について	秋田自然史研究会 水草グループ	高田 順 (秋田自然史研究会 水草グループ 顧問)	850	770
6	過栄養湖である宮島沼における冬期湛水水田による水質改善の試み	宮島沼の会	藤巻 裕蔵 (宮島沼の会 会長)	610	600
7	岐阜県におけるニホンカモシカとニホンジカとの種間関係の解明を目的とする緊急調査	岐阜県ニホンカモシカ研究会	鈴木 正嗣 (岐阜大学 応用生物科学部 獣医学講座 野生動物医学研究室 教授)	1,040	1,000
8	大阪地域における蘚苔類・菌類レッドリスト試作のための基礎研究	大阪蘚苔類・菌類レッドリスト研究会	佐久間 大輔 (大阪市立自然史博物館 学芸員)	890	500

国内研究助成 8件 小計 6,720

国内活動助成

1	多摩川河口干潟保全のシンポジウム開催	日本野鳥の会神奈川支部	鈴木 茂也 (日本野鳥の会神奈川支部 支部長)	300	300
2	赤城山ヒメギフチョウの保全のための緊急対策(仮)	赤城姫を愛する集まり	栃木 利夫 (法政大学文学部 教授)	600	600
3	市民参加による、ジュゴン生息域の海草藻場のモニタリング調査	シーグラスウォッチ・ジャパン	河内 直子 (シーグラスウォッチ・ジャパン 代表)	1,050	850
4	ヤクタネゴヨウの調査研究・保護増殖・普及啓発活動	屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊	手塚 賢至 (屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊)	1,190	900
5	香川県産ニッポンバラタナゴの系統保存のための保護池造成	かがわたナゴ倶楽部	横井 聡 (三菱マテリアル株式会社 直島製錬所 顧問)	850	800
6	イトウの保護	道東のイトウを守る会	小林 聡史 (釧路公立大学 教授)	610	550
7	日本産絶滅危惧種のための飼育繁殖個体群管理セミナー	CBSG-Japan	羽山 伸一 (日本獣医生命科学大学野生動物学教室 准教授)	1,300	1,300
8	長野県飯田市のハナノキが生育する湿地におけるモニタリングコースの保全	はなのき友の会	北澤 あさ子 (はなのき友の会 代表)	230	230
9	ツシマヤマネコ交通事故対策チームによる動物交通事故監視活動	ツシマヤマネコ交通事故対策チーム	杉谷 篤志 (NPO法人どうぶつたちの病院 理事長)	520	500
10	中部山岳国立公園立山地区の自然保護に関する利用者の意識調査	富山県地方自治研究センター環境部会	加藤 輝隆 (富山大学大学院医学薬学研究部 医学 助教授)	770	550

No.	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	決定額
11	日本語版造礁サンゴ同定マニュアルの作成	沖縄リーフチェック研究会	安部 真理子 (沖縄リーフチェック研究会 会長)	900	700
12	林床植物の生活史研究を基礎とした低地林保護のための環境教育プログラムの開発	子供達に身近な自然の大切さを伝える会	大原 雅 (北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授)	1,000	850
13	全国の在来タナゴ類の保全技術に関するシンポジウムの開催	NPO法人 日本国際湿地保全連合	辻井 達一 (特活 日本国際湿地保全連合 会長)	800	700
14	新規外来生物オオタナゴ拡散防止のための啓蒙活動	土浦の自然を守る会	萩原 富司 (土浦の自然を守る会 会計)	670	600
15	国指定天然記念物「犬吠崎の白亜紀浅海堆積物」と銚子海岸の植物生態と植物相に関する啓蒙のためのパンフレットの刊行	「調子の自然保護を知る会」パンフレット刊行会	鶴岡 繁 (千葉県生物学会 会員)	970	800
16	堆砂垣と植生保護を組み入れた海岸砂浜保全活動	NPO法人 表浜ネットワーク、堆砂垣・植生グループ	市野 和夫 (愛知大学総合郷土研究所 非常勤所員)	400	300
17	一人々のくらしと河口及び沿岸域の自然環境とのかかわりに注目して-吉野川河口の保全にむけて、シンポジウムの開催および報告書の作成	とくしま自然観察の会	井口 利枝子	1,340	650
18	環境学習としての海藻おしば作りの普及	海藻おしば協会	野田 三千代 (筑波大学下田臨海実験センター 非常勤職員)	1,000	600

国内活動助成 18件 小計 11,780

国内長期事業助成

1	絶滅の危機が迫りつつある西中国山地のツキノワグマ孤立個体群保護に資する研究と教育普及事業	広島フィールドミュージアム	金井塚 務 (広島フィールドミュージアム 会長)	2,210	1,600
2	兵庫県豊岡市円山川中下流域に生息するコウノトリの採食生態	コウノトリ研究会	武田 広子 (東邦大学大学院 理学研究科生物学専攻地理生態学研究室 博士後期課程)	2,000	1,500

国内長期事業助成 2件 小計 3,100

No.	テーマ	申請者名	推薦者名	申請額	内定額
-----	-----	------	------	-----	-----

海外助成

1	ブータンヒマラヤGedu-drala地域の常緑広葉樹雲霧林における人為的インパクトの評価と生物多様性の保全に関する研究	Pema Wangda	北澤 哲弥 (東京都環境局多摩環境事務所 東京都自然保護員)	2,400	1,500
2	ネパールにおける住民のハゲワシ保護意識啓発プロジェクト	Bishnu Prasad Shrestha	吉田 修一郎 (独 農業食品産業技術総合研究機構 主任研究員)	750	700
3	マレーシア・サバ州、クリアス半島のテングザルの保全	Henry Bernard	半谷 吾郎 (京都大学霊長類研究所 准教授)	1,600	1,000
4	地域スケールアプローチによる次世代の植物学者養成トレーニング	James V. LaFrankie	伊東 明 (大阪市立大学理学研究科 准教授)	1,600	1,000
5	重慶都市域における残存常緑広葉樹林の構造・動態および保全戦略	楊 永川	藤原 道郎 (兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授)	1,300	1,000

海外助成 5件 小計 5,200

プロ・ナトゥーラ・ファンド助成金額	合計 33件	26,800
-------------------	--------	--------

I-② 平成19年度(2007年)第3期ナショナル・トラスト交付一覧

(千円)

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
1	ナショナル・トラスト活動助成(2年目継続)	NPO法人 阿蘇花野協会	塩谷 愛一	500	500
2	北海道・札幌市の土地取得	NPO法人・カラカネイトンボを守る会	田屋 勉	4,215	4,215
3	高知県・高知市の土地取得	社団法人 生態系トラスト協会	中村 滝男	3,660	3,660
4	熊本県・阿蘇市の土地取得	財団法人 阿蘇グリーンストック	佐藤 義興	5,000	5,000
ナショナル・トラスト活動助成額			合計	4件	13,375

Ⅱ 平成19年度(2007年)第18期自主事業交付一覧

Ⅱ-① 有力保護団体助成

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
-----	-----	-----	-----	-----	-----

国内調査研究助成

(千円)

1	極東ロシアにおける鳥類標識調査の推進	(財)山階鳥類研究所	島津 久永 (財)山階鳥類研究所 理事長	2,000	2,000
2	普天間飛行場代替施設建設計画問題対処のための沖縄島・内湾自然環境調査	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿 (財)日本自然保護協会 理事長	2,000	2,000
3	「NACS-J河川委員会」による全国の河川問題の整理と河川環境管理のあり方の検討	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿 (財)日本自然保護協会 理事長	2,000	2,000

3件

6,000

国内活動助成

1	(1)石垣島白保サンゴ礁における海洋環境モニタリング調査 (2007年度)	(財)世界自然保護基金ジャパン	大内 照之 (財)世界自然保護基金 会長	1,600	4,000
2	(2)ジュゴン・ノグチゲラ・ヤンバルクイナ生息地の調査・保護活動(2007年)			1,600	
3	(3)カエルツボカビ症の防除に関する広報活動(2007年)			800	

3件

4,000

海外活動助成

1	サハリン石油・ガス開発の環境影響における自然環境・野生生物保護のための調査研究・政策提言・啓蒙活動	国際環境 NGO FoE Japan	藤田 慶喜 (国際環境 NGO FoE Japan 代表理事)	1,000	1,000
---	---	--------------------	---------------------------------	-------	-------

1件

1,000

有力保護団体助成額			合計	7件	11,000
-----------	--	--	-----------	-----------	---------------

II-② 直接助成

資料2-4

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
-----	-----	-----	-----	-----	-----

国内調査研究助成

1	小笠原諸島におけるボランティア活動による外来種対策(1年目)	小笠原諸島自然環境保全機構	堀越 和夫 (NPO小笠原自然文化研究所 理事長)	10,000	10,000
2	新石垣空港建設予定地及びその周辺の洞窟郡に生息する絶滅危惧種コウモリの生息実態に関する学術調査2007年(夏期調査)	カラ・カルスト地域学術調査委員会(略称:コウモリ類学術調査委員会)	船越 公威 (鹿児島国際大学教授)	1,000	1,000
3	三宅島の噴火被害地における生態系の保護と復元に向けた生態学的基礎研究(5年目)	三宅島自然研究グループ	代表 上條 隆志	1,000	1,000

3件

12,000

国内活動助成

1	鳥類保護の国際会議開催	NPO法人 バードライフ・アジア	市田 則孝 (NPO法人 バードライフ・アジア 代表)	1,690	1,690
2	カエルツボカビフォーラム2007	麻布大学・カエルツボカビフォーラム実行委員会	宇根 有美 (麻布大学 准教授)	1,000	1,000
3	CBSG Japan カエルツボカビ対策セミナーの開催と日本の両生類保全のための検討会議	CBSG Japan	羽山 伸一 (日本獣医生命科学大学野生動物学教室 准教授)	500	500
4	カエルツボカビ症への緊急対策企画(NACS-J 会員に向けた注意喚起と啓発)	財団法人 日本自然保護協会	田畑 貞寿 (財)日本自然保護協会 理事長	1,500	1,500
5	両生類・無尾類とカエルツボカビ	麻布大学・爬虫類と両生類の臨床と病理のための研究会とワークショップ実行委員会	政岡 俊夫 (麻布大学 学長)	1,000	1,000

5件

5,690

直接助成額	合計	8件	17,690
-------	----	----	--------

自主事業	総額	合計	15件	28,690
------	----	----	-----	--------